政治学概論 II

苅谷千尋
kariyach@staff.kanazawa-u.ac.jp

Winter 2026

Ⅰ. 授業の目的

1. ねらい

本授業は、政治学に関する基礎的知識を学ぶことを目的としています。グローバル化が進む今日、日本を世界の中に位置づける視点、また他国の問題、グローバルな問題を理解することが重要です。また、日本政治の特徴を理解するための有効な手段の一つは、それを他国と比較することです。この授業では、このような意味での比較を通して政治に関わる基本概念の理解を通して、政治や政策を動かす仕組み・メカニズムについて説明します。

2. カリキュラム上の位置づけ

この授業は、免許法該当科目（教科に関する科目）の「政治学」に分類されている選択必修科目です。

Ⅱ. 授業の到達目標

1. 受講生が、国民主権、国民国家、主権国家体制、国際法、選挙制度、官僚制度を中心とした公民分野の基礎的知識を得て、それを初学者に対してわかりやすく説明することができる（公民）。
2. 受講生が、政治学の諸概念について、比較政治という手法を用いて、自分なりの視点を加味した、関係図を作成することができる（基礎的関心）。
3. 受講生が、国際政治学、比較政治学ならびに公民分野に関わる基本的な資料、文献を読みこなすことができる（論理的思考・文献読解能力）。
4. 受講生が、1 及び 2 で得た知識を背景に、日々のニュース報道や新聞報道をより深く、また相対的に理解したうえで、自分自身の意見や解釈を、確かな根拠を明示しながら、明快に記述することができる（論理的思考・記述能力）。

III. 授業の内容および方法

1. イントロダクション：成績評価；国際政治学と比較政治学 *オンデマンド配信
   - SDGs 4. 質の高い教育をみんなに
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
2. 国際政治学（1）：グローバルイシュー①難民問題；②公衆衛生 *オンデマンド配信
   - SDGs 4. 質の高い教育をみんなに
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
3. 国際政治学（2）：グローバルイシュー②主権と自治 *オンデマンド配信
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
4. 比較政治学（1）：ケース①ジェンダー；ケース②憲法 *オンデマンド配信
   - SDGs 5. ジェンダー平等を実現しよ
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
5. 国際政治学（3）：現実主義；主権国家；主権国家体制；国際社会論 *対面授業
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
6. 国際政治学（4）：勢力均衡と軍備縮小；英国学派と IR *対面授業
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
7. 国際政治学（5）：グローバルイシュー③スタンリー・キューブリック監督『博士の異常な愛情』*対面授業
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
8. 国際政治学（6）：国際法；国際機構 *対面授業
   - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
9. 国際政治学（7）前半のまとめ／ディスカッション *対面授業
   - SDGs 4. 質の高い教育をみんなに
   - SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
10. 比較政治学（2）：比較政治学の方法と対象 *対面授業
    - SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
11. 比較政治学（3）：選挙制度；議会制度 *対面授業
    - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
12. 比較政治学（4）：執政制度；官僚制度 *対面授業
    - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に
13. 比較政治学（5）：中央・地方関係制度 *対面授業
    - SDGs 10. 人や国の不平等をなくそう；SDGs 11. 住み続けられるまちづくりを
14. 比較政治学（6）：後半のまとめ／ディスカッション *対面授業
    - SDGs 4. 質の高い教育をみんなに；SDGs 16. 平和と公正をすべての人に

IV. 授業の進め方

1. スケジュール

初回から第４回目までの授業はオンデマンド配信にて実施します（初回・第２回は 12 月、第３回・第４回は１月を予定）。それ以降の授業は対面で実施いたします（2027 年２月３日から５日、および８日を予定）。

2. 講義の進め方

- 授業はスライド資料を用いておこないます（資料は特設サイト（https://kariyach.github.io/teaching/politics2/index.html）を通して配布します）
- 授業は、受講生の理解度や関心を確認しながら進められます。そのため、受講生は、各単元に関連する指定文献を事前に読み、それについての感想、疑問などを書くことが求められます（リーディング・アサインメント）。また、授業の感想を簡単に書いてもらいます。回収したこれらの感想、意見のうち、重要なもの、代表的なものを紹介しながら、授業を進めます。すべての回答は一覧表にして配布します。
- 詳しくは予習・復習に関する指示を参照下さい。

V. 授業キーワード

- 国際政治学
- 国際法
- 比較政治学

VI. テキスト・参考書

1. テキスト

- 使用しません

2. 参考書

- 高坂正堯(1966)『国際政治：恐怖と希望』 中央公論新社（中公新書）ISBN: 4121801083
- 建林正彦・曽我謙悟・待鳥聡史（2008)『比較政治制度論』有斐閣（有斐閣アルマ）ISBN: 4641123640

3. その他授業資料等

- レジュメ、スライド資料などの授業資料は、特設サイトホームページを通して配布します。リーディング・アサインメントで用いる著作権のある文献については Moodle にアップロードいたします。

Ⅶ. 成績評価の方法およびその基準

Assignment	Percentage
リーディング・アサインメント	30%
授業の感想	30%
レポート（2 種）	30%
ディスカッション	10%

! 重要

- 授業には 3 分の 2 以上の出席を必要とします
- 評価基準は、授業の到達目標に準じます

予習・復習に関する指示

⑴ 予習：リーディング・アサインメント

- ほぼ毎回の授業において、内容にかかわる文献を事前に読み、感想や質問を書いて提出して下さい
- 文献の分量は内容によって差はありますが、1 時間くらい時間を書けて欲しいと思っています
- 文献、提出先、締め切りについては、特設サイトホームページからご確認下さい

⑵ 復習：授業の感想と授業アンケート

- 授業内容に関する感想を提出してください
- オンデマンド授業は毎回、対面授業の場合は、一日に 1 回とします
- 30 分くらい復習の時間を取って欲しいと思います
- 文献、提出先、締め切りについては、特設サイトホームページからご確認下さい

Ⅷ. 履修上の指導

- 受講に当たり予備知識は必要としませんが、日々のメディア報道など、政治的トピックに関心をもつ人の参加を歓迎します。

Ⅸ. オフィスアワー

- 授業の前後以外に、質問・連絡が必要な場合は、調整担当の諸岡先生にご連絡ください。

Ⅹ. その他

- 11 月中に具体的な授業スケジュールを Moodle を通して連絡しますので、必ず確認してください。また、この授業に関わる特設ウェブサイトのリンクもご案内します（補足・https://kariyach.github.io/teaching/politics2/index.html です）。Moodle は基本的な連絡事項を伝えるためにのみ用います。オンライン配信の URL などの情報はすべて特設サイトに集約しますので、お気をつけ下さい。
- ＊4 年生の受講希望者は、あらかじめ調整役の諸岡先生までご相談をしてください。相談がない場合は受講できない場合があります。